

## 工事に伴う境界標の取扱い手引き

### 1 目的

この手引きは、工事にともない境界標(土地の権利または占有関係を示す既設境界標を指す。)にかかる地権者とのトラブルをあらかじめ防止するため、その取扱いを明確にすることを目的とする。

### 2 適用範囲

この手引で取扱う境界標は、次の2種類とする。

- (1) 官民杭・・・道水路と民有地及び官有地(道路以外の官有地)との境界を示す境界標
- (2) 民民杭・・・上記以外の境界標

### 3 事前調査と保全

工事の開始に先立ち、工事を施工する範囲及び工事に影響を受ける範囲において、別紙フロー図に基づいて境界標の調査を行い、境界調査一覧表(様式1)及び境界標事前調査書(様式2)を監督員に提出し、境界標並びにその引照点が破損・失し・不明とならぬよう、適切な保全を行うものとする。

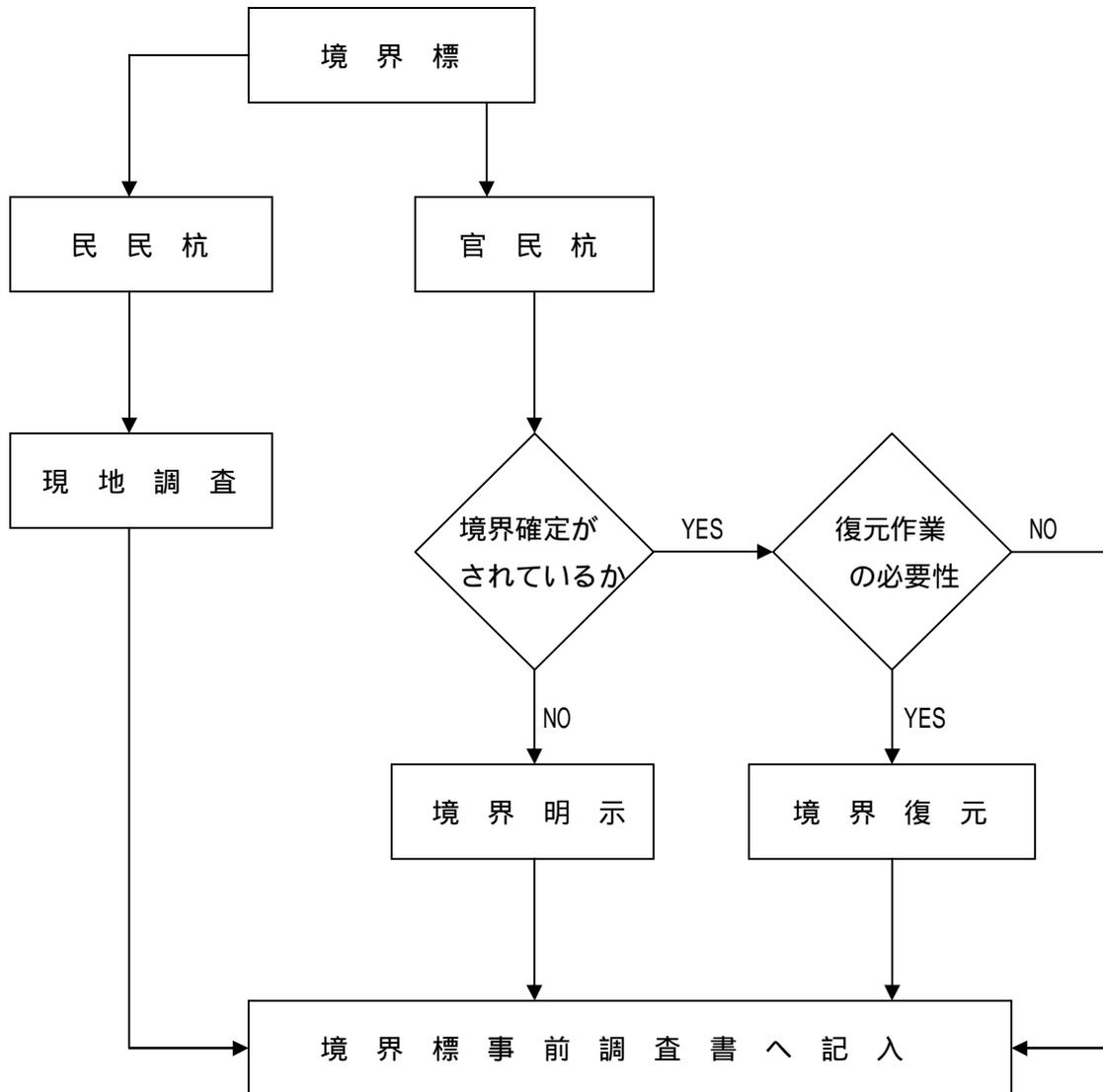
### 4 一時撤去及び復元

- (1) 工事に伴ない、やむなく境界標を一時撤去する必要がある時は、関係地権者から境界標の一時撤去について承諾を得ると共に、様式2の引照点図の確認を得るものとする。
- (2) 復元に当たっては、境界標事前調査書に基づいて正確に復元し、関係地権者立会いのうえ確認を得、境界標一時撤去・復元確認書(様式3)を監督員に提出するものとする。

### 5 計測及び点検

工事完成後は、速やかに工事区域及び工事により影響を受けたと思われる区域にある境界標の異常の有無について、様式1で最終確認を行う。その際、様式2及び資料(査定図等)に基づいて計測・点検し確認する。

境界標事前調査フロー





## 様式 2

## 境界標事前調査書

境界標番号		工事名	
請負者名			現場代理人氏名
所在地			
調査日	平成 年 月 日	一時撤去の必要性 有 ・ 無	
調査人	(請負者名)	(氏名)	
土地の 権利者	(住所)	(氏名)	
備 考			

注：境界標は1箇所に1枚作成すること

(様式2の内)

境界標位置図		引照点図	
		(単位:mm、引照点は3点以上とする)	
(写真)			
立会確認日	平成 年 月 日		
立会確認者 (所有者)	(住所)	(氏名)	
立会確認者 (村上市)	(所属)	(氏名)	
立会確認者 (請負者)	(会社名)	(氏名)	

様式3

境界標一時撤去・復元確認書

境界標番号		工事名	
請負者名			現場代理人氏名

一時撤去確認日	平成 年 月 日	
立会確認者 (所有者)	(住所)	(氏名)
立会確認者 (村上市)	(所属)	(氏名)
立会確認者 (請負者)	(会社名)	(氏名)

境界標復元日	平成 年 月 日	
立会確認者 (所有者)	(住所)	(氏名)
立会確認者 (村上市)	(所属)	(氏名)
立会確認者 (請負者)	(会社名)	(氏名)

備考